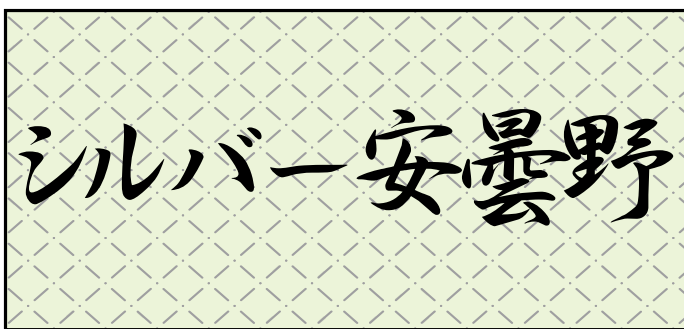




シルバー人材センターシンボルマーク

このマークは、全国のシルバー人材センター出働く高齢者が広く連携し、共に働き、共に助け合っていくことをめざして作成したものです。

デザインは、シルバー（Silver）の「S」とセンター（Center）の「C」で飛翔する鳥と、動き出す人の姿を表現しています。



第41号

平成22年8月1日

発行

社団法人

安曇野シルバー人材センター

住所

安曇野市豊科5126-1

TEL 0263-72-5800

FAX 0263-73-6484

印刷 (有) 安曇印刷



緊急雇用創出事業（駅前放置自転車撤去作業）

就任ごあいさつ

理事長 横山 幸久



平成二十二年度通常総会において理事にご承認いただき、その後の理事会において理事長という大役を仰せつかりました。微力ではありますが、前理事長はじめ諸先輩の方々が築き上げてこられたシルバーの理念をしっかりと受け継いで、初心にかえりセンターの事業発展のため懸命に取り組んで参りたいと存じます。

前理事長同様、会員、役職員の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

安曇野シルバー人材センターは、安曇野市となって新しい組織として五年目、来年は設立二十年という節目の年を迎えます。また新しい公益法人の対応など大きな課題を含んだ年となります。

平成二十一年度は事業報告のとおり、景気悪化で民間の受注減が大きく、シルバー事業を取り巻く環境はきわめて厳しい状況にあります。前年度の事業実績を底辺として、会員の皆様はじめ役員心をひとつにして、事業の展開をお願いします。私から三つをお願いしたいと思います。一、適正就業はもとより、安全第一で、「危険な仕事を受けない、させない」「怪我をしない、させない」の徹底をお願いします、事故ゼロを全会員の合言葉に生き甲斐を持つて働いていただきたい。二、シルバー人材センターへの補助金の減額など厳しい中において、自主・自立・共働・共助の理念のもと、規範を遵守し一人一人が責任を果たしていただきたい。三、地域での先輩達が築いた信用・信頼を受け継ぎ、就業や行事等を通じて知識経験技能を十分に発揮し貢献を図っていただくようお願いいたします。

終わりに、センターの運営に行政をはじめ地域並びに会員の皆様の特段のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げて就任のあいさつとさせていただきます。



第18・19回通常総会開催

通常総会は、22年3月16日に第18回として、平成21年度収支補正予算、22年度事業計画、22年度収支予算及び公益社団法人への移行についての4議案を議決しました。

第19回通常総会は、5月27日に開催されました。議事の前に、会員表彰及び役員表彰が行なわれ、合わせて21名が受賞されました。



議案は平成21年度事業報告、平成21年度収支決算報告、理事及び監事の選任、公益社団法人移行当初の代表理事の件、公益社団法人以降当初の業務執行理事の件、移行に伴う定款の変更及び正会員会費規定の変更について以上7議案を議決しました。

新年度予算の、事業収入は前年比0.6%減の5億2568万円。21年度決算は契約金額5億4664万円の前年比89.9%、配分金も5億574万円の前年比90.2%と県平均を下回った。

役員改選では、理事長には副理事長の横山幸久さんが選任され、公益社団法人移行後の最初の代表理事にもなります。23年度より公益社団法人移行に伴う定款変更も会員の皆さんには現行と大きな変更はありませんが決定されました。

役員紹介

理事長	横山 幸久 (再任)
副理事長	岩谷 昇 (再任)
専務理事	小松 善嗣 (再任)
理事	古幡 菊子 (再任)
理事	山田 裕也 (再任)
理事	中野 哲也 (新任)
理事	寺嶋 春樹 (新任)
理事	丸山 孝雄 (再任)
理事	尾日向 洋 (新任)
理事	鹿川 祥彰 (新任)
理事	宮島 寿宏 (再任)
理事	小川 廣道 (再任)
監事	大日向 泉 (再任)
監事	宮沢 憲令 (新任)



寺嶋理事



中野理事

再任・理事 監事再任
新任・理事 監事新任



尾日向理事



鹿川理事



宮沢監事

活動組織部会担当

(〇・部会長)

総務部会

〇丸山 孝雄
寺嶋 春樹
尾日向 洋
小川 廣道
(尚、総務部会は機構改革推進委員を兼ねる)

表彰者一覧

地区名	氏名
豊科	浅川 幸子
豊科	清澤 晴治
豊科	高橋 政克
穂高	遠藤 亮一
穂高	原田 慶治
穂高	水上 敬
穂高	縣 好子
三郷	丸山 雄子
三郷	東 義雄
三郷	宮沢 ひろ子
三郷	吉川 正人

掘金 岩牧 潭

役・職員表彰
前島 進
山田 俊秋
中田 寿勝
松村 榮逸
内川 政幸
小林 英輔
鳥羽 勇二
小穴 兆司
長瀬 澄子

21年度実績事業

	20年度	21年度	前年度比	
会員数(人)	869	932	107.2	
延日人員(人)	122,702	110,884	90.4	
就業率(%)	102.3	97.6	95.4	
受託件数(件)	6,322	6,078	96.1	
配分金(千円)	560,607	505,744	90.2	
契約金額	公共施設	106,985	103,936	97.2
	民間事業所	422,565	359,591	85.1
	一般家庭	76,659	81,768	106.7
独自事業	1,588	1,346	84.8	

SP事業(シニアワークプログラム) 講習会受講者募集

講習会名 警備業務講習
日時 平成22年8月26日(木)～9月9日(木)のうち10日間
場所 安曇野シルバー人材センター 安曇野市豊科5126-1 ☎0263-72-5800
定員 30名(15名×2班)
(申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます。結果は開講1週間前までにご通知いたします)
募集期間 平成22年7月12日(月)～8月6日(金)

事業部会

〇鹿川 祥彰
山田 裕也
宮島 寿宏
(尚、事業部会は安全委員を兼ねる)

調査広報部会

〇古幡 菊子
中野 哲也
岩谷 昇

二〇周年検討委員会を設置

〇岩谷 昇
古幡 菊子
寺嶋 春樹
鹿川 祥彰
宮島 寿宏

退任にあたって

前島 進

第十九回通常総会を最後に、曲がりなりにも無事大任を果たすことが出来ました。基より浅学非才の私に理事の皆様始め、多くの会員の皆様よりご指導、ご協力を頂いた事に感謝申し上げます。

退任される理事、監事の皆さん
大変ご苦労さまでした

理事長	前島 進
理事	坂 卷 篤 美
理事	山田 俊 秋
理事	中田 寿 勝
監事	松村 榮 逸



県シ連安全パトロール



安曇野シルバー安全パトロール

梅雨が明けると同時に猛暑が続き、体がうだりそうな毎日が続いております。昼間就業いただいている皆様、体調管理・水分補給を十分お願いします。22年度に入り、安曇野シルバーでは傷害事故3件、賠償事故1件が発生しており、昨年とほぼ変わりません。当シルバーもさることながら県内シルバーで

は5月から7月のわずか3ヶ月間に4件の重篤事故が発生し、その内の3件は死亡事故となっております！7月26日には県内シルバーに重篤事故発生警報が発令されました！皆様も是非、『明日は我が身』と心を引き締め、今年はこれ以上事故を起こさないよう努めて行きますよ。

安全委員会だより

そんな中、今年も7月の安全・適正就業強化月間の一環として、県シ連安全パトロール3ヶ所及び安曇野シルバー5地区の両パトロールが行なわれまし

た。どちらの地区も安全には十分注意し就業している様子を見ていただきましたが、若干の注意も指摘されましたので、今後尚一層の安全確認をお願いします。

平成 22 年度 安全適正就業の標語を募集し、当シルバーで7名、13 点の応募をいただきました。ありがとうございました。

次にその標語を発表させていただきます。どれも力作ばかりで、今年も安曇野シルバーの表彰が期待できます。

- ・怪我のもと独りよがり早合点
- ・この作業何が危険かまず確認
- ・「心で誓い目で確認」守る安全仲間の力！
- ・安全は「心で誓い目で確認」声をかけあう仲間の力！
- ・安全を忘れたところに、事故発生
- ・作業前、安全確認、忘れるな
- ・見たつもり、やったつもりが事故のもと
- ・今日もまた安全第一心がけ
- ・焦らず急がずいつも安全第一に
- ・危険を予知し未然に防ぐ小さな事故
- ・この作業誓って事故は起こしません
- ・“まさか”のために保護具をつけて正しい作業
- ・事故のめは油断のスキをねらっている

来年は更に大勢の皆様の応募をお待ちしております。

平成22年度 事業計画及び 収支予算

◆基本方針

ワークシェアリングやローテーション就業の推進。行政との連携を図りながら、企画提案方式事業の提案。「安全就業の推進」を行ない、事故の撲滅を目指す。23年4月の公益社団法人への移行を目指す。

◆重点事業

- 1 安全適正就業の推進
- 2 就業機会の確保

- 2 就業機会開拓事業
- 多様化する地域のニーズや会

事業活動収入		
科目	平成 22 年度	前年度差額
1 受託事業収入	500,000	0
2 独自事業収入	1,156	0
3 会費収入	2,730	0
4 補助金等収入	21,784	- 3,403
5 雑収入	10	0
①事業活動収入計	525,680	- 3,403
事業活動支出		
科目	平成 22 年度	前年度差額
1 事業費	485,802	- 3,194
受託事業費	469,500	- 740
独自事業費	1,100	0
安全・適正就業費	269	74
普及啓発費	1,184	56
就業開拓提供費	11,760	- 3,185
調査研究費	885	- 276
SP 事業費	420	193
SPP 事業費	684	684
2 管理費	46,462	597
人件費	35,588	741
一般管理費	10,874	- 144
②事業活動支出計	532,264	- 2,597
事業活動支出		
科目	平成 22 年度	前年度差額
3 特定資産取得支出	7,000	0
4 敷金・保証金等支出	0	0
③投資活動支出計	7,000	0
5 予備費	5,416	- 5,467
④予備費支出計	5,416	- 5,467
⑤前期繰越金	19,000	- 4,661
次期繰越収支差額	0	0

◆事業実施計画

- 1 安全適正就業推進事業
 - 会員の「安全・適正就業」の徹底を目指し事故の撲滅を図るため次の事業を行なう。
 - (1)安全委員会を開催
 - (2)安全適正就業パトロールの実施
 - (3)各種安全講習会の実施
 - (4)ヘルメット、防振手袋の斡旋及び一部助成
 - (5)全会員を対象としたアンケートの実施
- 3 普及啓発活動の推進

総会に出席して

三郷地区 望月 静男



望月 静夫

五月二十七日のふれあいホールでの通常総会に出席しました。理事長挨拶のあとセンターの事業活動に寄与された会員、役員二十一名の表彰がありました。来賓祝辞のあと議長の選出がなされ、ひき続き小松事務局長から二十一年度事業報告と収支決算報

告があり、監査報告まで原案通り可決されました。暫時休憩のあと三役の選任の提案があつて満場一致で新三役が選出され、以降7号議案まで原案通り可決承認されました。総会で事務局の説明によると、厳しい状況の中ではあるが会員が役員と一丸となつて地域に根ざした活動をすれば、必ずや会員の増と仲間の働く生き甲斐を生み出す「源」となるので共感しました。いま地域に求められているものは何か。高齢化する中で元気な人は地域の福祉の担い手となる必要があります。それにはどんな事業が良いのか、行政との絡みもあつて難しいかもしれませんが、でも連携を取り英知を出せば、何か分担する事があるかと思ひます。働く仲間と受益者との信頼関係が増せば、シルバー自体の活性化が図れると思ひます。私たちの身近な情報も提供することで事業発展の一助となるかもしれないので、これからは前向きに考えて行きたいと思ひます。



地域班組織設置要項での班長の任務は(1)センターの目的の周知及び会員相互の自主性を高め、業務の推進に努める。(2)会

去る4月22日午前10時より地域班長及び交替になった職域班長の皆さんに班長の委嘱書の交付が行なわれました。期間は今後2年間です。

班長の皆さんに辞令交付

- 1月8日 互助会役員会
- 1月17日 豊科地区懇談会
- 1月20日 三郷地区懇談会
- 1月21日 新入会員説明会
- 1月22日 穂高地区懇談会
- 1月24～25日 会員互助会 親睦旅行
- 1月28日 理事会
- 1月30日 明科地区役員会
- 2月6日 堀金地区懇談会
- 2月10日 明科地区懇談会
- 2月18日 新入会員説明会
- 2月25日 理事会
- 2月25日 安全委員会
- 3月16日 第18回通常総会 理事会

センターの出来事

- 3月18日 新入会員説明会
- 3月19日 県シ連通常総会
- 3月24日 職域剪定班長会議
- 3月25日 学校庁務就業委員会
- 4月1日 22年度始業式
- 4月15日 新入会員説明会
- 4月20日 平成21年度分監査
- 4月22日 地域・職域班長委嘱状交付式
- 4月26日 りんご摘花講習会
- 4月27日 互助会21年度分監査
- 5月20日 新入会員説明会
- 5月27日 第19回通常総会
- 7月6日 新任理事等研修会
- 7月14日 新入会員説明会
- 7月15日 北シ協定期総会
- 7月16日 安全委員会
- 7月23日 互助会役員会
- 7月23日 県シ連安全パトロール
- 7月26日 安全適正就業研修会
- 7月27日 三郷・堀金・穂高地 区安全パトロール
- 7月28日 豊科・明科地区安全パトロール

会員証は常に携帯しましょう

毎日暑い日が続きますが、水分は十分取って、熱中症に注意しましょう。又、除草関係や剪定作業は依頼者と事前に方法等の確認をして就業してください。除草等は印として棒を立てる等が有効でしょう。

配分金の振込日

- 7月分は8月20日(金)
- 8月分は9月17日(金)
- 9月分は10月20日(水)
- 10月分は11月19日(金)
- 11月分は12月20日(月)

会員のお悔やみ

- 猿田 房穂様 (平成22年2月1日)
- 寺嶋 耕治様 (平成22年2月7日)
- 岩淵 武好様 (平成22年2月18日)

ご逝去を悼み、心よりご冥福をお祈りします。



会員互助会代議員会が5月25日にシルバ－の事務所のある、ぬくもりセンターの会議室で開催されました。21年度の会議及び事業、親睦交流及びサークル活動事業の事業報告、21年度の互助会収支報告及び役員を選任が行なわれま

平成22年度 互助会代議員会開催

マレットゴルフ大会のお知らせ

日時 8月20日(金) 午前9時スタート
場所 三郷『黒澤マレットゴルフ場』
参加人数 各地区4チーム16人
会員の親睦交流をはかり、健康増進とシルバ－事業を推進するため実施する。(大会要項)

親睦旅行参加者募集

安曇野シルバ－人材センター会員互助会
新春 御前崎の旅
身延山久遠寺・大井川鐵道

第16回安曇野シルバ－人材センターの旅は、新春の山梨県、身延山久遠寺を参拝し、静岡県最南端『御前崎』に宿泊いたします。遥かに広がる青い海と空、そして新鮮な海の幸を味わえるコースです。翌日には昔なつかしの蒸気機関車、大井川鐵道(SL列車)に乗車します。何かとお忙しいことと存じますが、一年に一度の会員互助会の親睦旅行です。お友達やお仲間を誘い合い、皆さん奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

行程表	2月20日(日)	2月21日(月)
安曇野市(各地)⇒豊科IC又は松本IC⇒長野道⇒みどり湖PA(休憩、7:20~7:35)	合流)⇒中央道⇒増穂IC⇒R52⇒身延山久遠寺(参拝)⇒⇒⇒9:50~10:40	ホテル⇒掛川城(見学)⇒グリーンピア牧之原(お茶工場見学、買物)⇒8:00 9:00~10:00 10:20
日本平パークウェイ⇒日本平(昼食)⇒登呂遺跡博物館(見学)⇒12:40~13:40 14:20~15:20	※お弁当積込 新金谷駅⇒大井川鐵道(SL列車)⇒千頭駅⇒焼津さかなセンター(海産11:30 11:58 15:10~16:00	
御前崎(宿泊)※御前崎グランドホテル 0548-63-3333 16:30	物買物)⇒焼津IC⇒東名高速⇒朝霧高原(休憩)⇒中央道・長野道⇒17:20~17:40	
	松本IC又は豊科IC⇒安曇野市(各地) 20:10~20:30	

会員互助会役員名簿		豊科 会員互助会代議員名簿	
会長	降幡 昭男	監事	西沢 健次
副会長	児玉 多聞		穂高
副会長	小林 直丈		武田 孝男
幹事	岩月 優幸		上田 千春
幹事	瀬戸山 綱彦		原田 慶治
幹事	小林 寛子		松田 正樹
幹事	日比野 行伸		黒川 信幸
幹事	青柳 喜孝		丸山 忠則
幹事	立澤 久義		吉原 周平
幹事	堀内 國夫		鷺澤 正
幹事	矢花 正一		徳竹 孝一
			山 誠
			明科
			堀金
			望月 静夫
			松澤 和康
			浅川 泰通
			竹内 富美子
			唐沢 博徳
			飯沼 忠弘
			広田 万寿美
			滝沢 郁雄
			滝澤 茂治
			山崎 今朝登
			荻久保 岩男
			中村 今朝盛

春 の南知多への 旅

平林 衛

最も寒い時期、大寒入りして最初の日曜日がシルバ－互助会旅行の日、日の出前後の寒い時間に19名の会員・職員を3台のバスがそれぞれの地を回り分乗集客し駒ヶ岳サービスイアで落ち合う。

ここからは3台揃っての道行き。最初の見学地は名古屋城、城をバックに各号車ごとに記念撮影。後は決められた時間内の自由見学。年配の観光ガイドさんに歴史を聞く：「この城は徳川御三家の筆頭尾張の威光を象徴するのにふさわしい居城として昭和の世まで伝承されて来たが第二次世界大戦の戦火（昭和20年5月）により惜しくも天守閣・金鯱とも焼失し、今あるのは昭和34年に再建された「デブリカ」との事。そして金鯱のエピソードを聞く。「世界では数回目となるロンドンで行われた万国博覧会に文久2年（1862年）徳川14代將軍「家茂」のとき使節団がチヨンマゲ姿で（福沢諭吉も

同行）見学に行く。ロンドンから会場まで世界初の地下鉄（メトロポリタン鉄道）約6kmの開通を体験し、機械化の発展に驚き帰国。それから10年後に横浜・新橋間の鉄道が開通、次の年の明治6年（1873年）に金鯱は海をわたってオーストリア（ウィーン）で開かれた万博に参加出展」されたと聞く。

昼食を取り熱田神宮・紫峰人形美術館などを見学してバスは南知多道路を今夜の泊まり知多半島最先端師崎港「活魚の美舟」へ。天気にも恵まれ暖かい日差しは、目的地に近付くにつれ、西（進行方向右）に伊勢湾・東に三河湾、前双方の湾を抜ければ太平洋。ち



らほら見える海は春のぬくもりを感じる絶好のドライブ日和だった。楽しいみの宴会の料理は鯛の姿作り・海老味噌鉄板焼き・車海老塩焼き・ふぐ唐揚げ等々：活きの良い海の幸をぐ当地ならではの美味しい料理にカラオケで、宴も盛り上がり堪能した。旅は名所・旧跡の見学もさることながら、ご当地のグルメも又楽しみの一つだ。来年も行きたい先は何所でも良い、ご当地グルメと働く仲間との交流・親睦を楽しみに参加したいと思う。

平成22年7月13日

就業先訪問

大松屋わさび店 横澤けい子



穂高名産のわさび、大松屋さんに仕事に行きだして、5年目になります。仕事は、根、葉を取る作業です。力を入れすぎて、いもに傷を付けて迷惑をかける事があり

ます。時々手が痛くなる事があります。私に合った好きな仕事です。話をしたいけないと思いますが、政治、テレビ、料理などの話しが弾んでしまう事も。お茶を出して下さいます。お茶の時間が楽しみです。出来たらわさびに関わって続けたいと思います。半日のひととき楽しく過ごしています。大松屋の皆さん、これからもよろしくお願いします。

編集後記

平成22年度の安曇野シルバ－の活動が始まりました。

今年度は、役員改選の年に当たり、横山理事長が新任されました。その他の理事の方々も、それぞれ新しい委員長・委員に決まり安曇野シルバ－の発展に尽力されるものと期待します。

一昨年の不況からは、脱却しつつわずかながら明るい兆しも見えて参りました。

本年度も安曇野シルバ－人材センターの事業運営に一層の協力をお願い申し上げます。

会報の発行には会員皆様方の投稿をお待ちしています。

古幡 菊子
岩谷 昇
中野 哲也